



The service club to the YMCA
**THE Y'S MEN'S CLUB OF
 TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒 662-0977 西宮市神楽町
 5-23
 西宮 YMCA 内
 Tel (0798)35-5987



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2022年4月会報 第400号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP)

Kim Sanche (Korea)

主 題 世界とともにワイズメン Y's Men with the World

スローガン 愛と尊厳で世界を癒やそう Heal the World with Love & Dignity

アジア太平洋地域会長(AP) 大野 勉(神戸ポート)

主 題 100年を超えて変革しよう Make a difference beyond the 100th

スローガン 健康第一！ Be healthy!

西日本区理事(RD) 新山兼司(京都トップス)

主 題 未来への挑戦 Challenges for the future

スローガン 羽ばたこう！2022年ワイズ 100周年に向かって

六甲部長 大野智恵(神戸ポート)

主 題 寄り添い、分かち合い～『三方よしで、みんな笑顔』

Snuggle up and share with you～“Smile on each side”

宝塚クラブ会長 福田宏子

主 題 健やかに、多くを愛でて、朗らかに Live well, Love much ,Laugh often!

<p>今月のテーマ：RBM(ロールバックマラリア)</p> <p>国際統一事業、マラリア撲滅にご理解、ご協力、ご支援をお願いします。</p> <p>地域奉仕・環境事業主任 河原 正浩(京都トップス)</p>	<p>2021～2022 役員</p>	<p>会長 福田宏子 副会長 小林康男 書記 武田寿子 会計 小林康男 郡家 学 会計監査 加藤光信 吉田 明 担当主事 橋本 唯 メネット連絡 小林貴美子 六甲部Y'サ 若林 成幸</p>
<p>2022年4月例会(ハイブリッド)</p> <p>日 時：2022年4月13日(水)18:30</p> <p>場 所：宝塚教会</p> <p>会 費：1500円</p> <p>ドライバー 若林成幸 石田由美子</p> <p>開会点鐘 福田宏子会長</p> <p>ワイズソング 全員</p> <p>聖書朗読 鯖尻佳子</p> <p>祈 禱 吉田 明</p> <p>ゲスト・ビジター紹介 会 長</p> <p>会 食 有</p> <p>お 話 萬田 悠介 氏 「和菓子的心」</p> <p>各委員会報告</p> <p>YMCA報告</p> <p>誕生日のお祝い 会 長</p> <p>ニコニコファンド</p> <p>閉会点鐘 福田宏子会長</p>	<p>4月 誕生日</p>	<p>石原美生子(24)</p>
<p>3 月 実 績</p>	<p>例会出席者数 20名(ズーム名)</p> <p>在籍会員数 20名</p> <p>出席会員数 16名(ズーム2名)</p> <p>出席率 80%</p> <p>メイクアップ(内数) 0名</p> <p>メネット・コメット・孫メット2名(ズーム0名)</p> <p>ゲスト・ビジター 2名(ズーム0名)</p> <p>例会充足率 100%</p> <p>アソシエイト会員 4名(ズーム名)</p> <hr/> <p>ここにこBOX 7,000円</p> <p>累 計 43,300円</p> <p>ファンド(豚 肉他) 5,200円</p> <p>(真菰茶) 1,500円</p> <p>累 計 23,920円</p> <p>ファンド合計 67,120円</p>	

聖句

「⁶ どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。⁷ そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。」

フィリピの信徒への手紙 4 章 6-7 節

随想

下稲葉康之著『ホスピスわが人生道場』の中に一人の患者が紹介されています。右頸部の小さな腫瘍を切除するも転移し出血。死の恐怖に捕われた 49 歳の男性はイライラとして落ち着きなく、表情も暗くて眉間にしわを寄せ、問いかけにもうつろな顔を上げようとしませんでした。夜勤の看護師の不安は彼が自死することでした。

そんな彼に忍耐強く接触をし続けたスタッフにだんだん心を開き、会話がはずみ、笑顔が見られるようになり、病院から差し出された聖書を愛読するようになっていきます。賛美歌『いつくしみ深き友なるイエスは』は彼の愛唱歌となり、彼の口調には心からの感謝の実感がこもるようになっていきました。そして、「私はイエスさまのことを聞き、何もできない私でも信じてよいことを知りました。イエスさまを信じる私をも天国に入れてくださることを信じます」と涙しつつ祈るようになりました。

最期の時を迎えた彼は、衰えながらも顔を輝かせて「私の人生にはツキがあった。しかし、こんな病気になってツキから見放されたかと思っていたが、ここに来て、最後にツキが戻ってきたと思うようになった」と言い残し、「いつくしみ深き」を歌いつつ天に帰っていきました。

衰えゆく自分の姿を見つつも「最後にツキが…」と彼に言わせたのは、死の力をもつ者を滅ぼすキリストでした。死の陰の谷を歩むという経験をしている者にとって、死んで復活し、今も生きたもうお方こそ、まことの慰め主であり、癒し主でした。

私たちは普段の生活の中で死んで復活し、今も生きたもうお方をどこで感じているのでしょうか。

教会では日曜日の礼拝を「主日」と呼ぶのは、復活された主を覚えることによります。未だに新型コロナウイルスの影響下に置かれ、ロシアのウクライナ侵攻により心を痛めることばかり続く中ですが、私たちはこの「主日」に復活された主と出会っていることに慰めを得て、課題を担って前に向きたいです。

浦上 結慈

3月例会報告

3月9日(水)18時30分臨時会場宝塚教会にて、ドライバー美声の小林氏の司会進行でスタート致しました。例会の流れに沿いいつも元気をくださる福田会長の開会点鐘。出席総数メン、メネット、アソシエイト、ゲスト&スピーカー含めて21名。

聖書朗読を武田寿子氏、祈禱を石田由美子氏、そして会長よりゲスト&スピーカー紹介。先ずは、ビジター橋本詩織様(矢部様より)の紹介、続いてメインディッシュスピーカー田村博美氏。



テーマは、『宝塚の都市づくりと西谷の役割』で、宝塚の地形、北部(西谷地域)と南部(阪急沿線西宮境まで)に分けて魅力と問題点と提案・計画を笑いと怒りと雑学をまじえてのエデュケーショナルショーでした。

特にプレゼンとしては、1:歌劇がないものとして地域の固有性・文脈等々魅力ある宝塚を考えてみよう 2:路線価の向上への取り組み、多彩な市民が多いのに活用努力しない行政 3:財源の対応、現都市計画マスタープラン(コンパクトシティー)の見直し、立地適正化計画、商業地域・自然環境地域の魅力ネットワークの充実化と、理解の可否は別として受け止めました。

皆様はどう受け止められたのでしょうか? あと西谷の里山・集落道・上佐曾利の風景・私設図書館、私設五右衛門風呂の中さん? 隣の山森さん? の地元民の紹介

垂直型の北部、L字型の南部地形の面白さ・県有地の活用プランなど、時間超過しても足りなかったぐらいたくさん話して頂きました。

質疑応答では、矢部様が西谷地元民の声を、一部分お聞かせ下さいました。

続いて、委員会報告:多胡氏より3/12 自立の家にて恒例の凧揚げについて説明報告、若林氏より3/19 ウクライナ支援献金についての説明報告、石田氏よりアソシエイト喜多邦子様よりバレンタイン献金の報告と終え、続き当月誕生日お祝い福田素子・加藤光信・吉田明・郡家学各氏プラス、ニコニコファンドを経て閉会点鐘福田会長で終えました。



今回Zoom参加はございません。ご列席の皆様お疲れ様でした。第一例会報告終了致します。

郡家 学

3月第2例会報告

3月16日(水)午後2:00から宝塚教会にて第2例会を行い、福田会長、小林、若林、多胡、長尾、吉田、郡家、福家、青柳 zoom 各メンが参加した。議事要旨は次の通り。

1) 例会の運営

- ① 4月第1例会(4/13:水) 6:30p.m. ~8:30p.m. 場所:宝塚教会
講師:萬田悠介 「和菓子的心」(仮題)、食事付き、講師に和菓子を注文する。
会費:1,500 円 食事発注:吉田
- ② 5月第1例会(5/11:水) 6:30p.m. ~ 8:30p.m. 場所:宝塚教会
講師:竹内一夫ワイズ (さんだクラブ)、ソーシャルワーカーとして実務経験豊富。
課題:未定 会費:¥1,500(食事付き)

2) 2011-2022 年度六甲部第2回評議会(ZOOM) 3/19(土)2:00p.m.~4.00p.m.

参加者: 福田会長、若林、多胡、石田、武田、長尾、青柳、小林、鯖尻

3) 各事業報告

- ① CS:「揚がれ希望の凧」3/12(土) はんしん自立の家 参加者 25 名(別記参照)
- ② 交流: * 京都パレスワ:イズメンズクラブ:50 周年記念例会:2022 年 5 月 7 日(土)
ホテルオークラ京都:16:00 開宴 登録費:¥12,000 参加希望者は石田まで
- ③ デジタル委員会:(別記参照)
- ④ NGO:宝塚市国際交流協会のロビー展示(4月~6月)
前半期は宝塚クラブ紹介・地域活動・YMCA 活動、後半期は余島キャンプ活動の展示を
予定し、3/22 13 時から同所にて材料を持ち寄り準備会を行い、4/1 に飾り付け作業を行う。
福家・鯖尻・多胡・長尾・若林・郡家・小林ほか有志の協力を求める

4) ブリテン(長尾)

寄稿分担を相談、原稿メ切は 3/25

5) その他

- ① 西日本区交流会 3/26 19 時から Zoom で。参加者は福田、石田、多胡、長尾ほか
- ② ウクライナへの募金 六甲部会として 10 万円の募金、各クラブの有志は任意で参加。

文責:若林成幸

ゲストプロフィール

虎屋吉末八代目当主

学生時代十年間、アメリカンフットボール部に所属。

卒業後、京都宇治市の和菓子店で、住み込み修行を五年半終え、家業に戻り、十二年職人一筋。昨年より先代から受け継ぎ、八代目当主となる。

茶会菓子始め、フルーツを使った大福やどら焼き等、若手世代にも好まれる商品も作る。



六甲部第2回評議会をZoomで開催

六甲部第二回評議会が3月19日(土)午後2時からオンライン形式で行われた。コロナ禍、対面での会合が



困難になったため、第1部評議会、第2部交流会が企画された。評議会の部は、大野智恵部長の開会点鐘、ワイズソング斉唱、聖書朗読・祈祷から始まり、進行役の水野書記から、出席者59人(六甲部136名の43.4%。宝塚から福田会長、若林、多胡、石田、武田、長尾、青柳、小林、鯖尻が出席)で会合の必要条件を満たしている旨の報告があり、予め配布されたプログラム通り議事が進められた。部長報告では①各クラブがオンライン形式による例会運営に努力したこと、②デジタル小委員会が活発な活動を展開したこと、③ワイズ100周年記念植樹を実施したこと等、六甲部の動きを報告され、次いで会計から中間報告があった。その際、予算執行状況に鑑み「ウクライナ救援募金10万円」の提案があり、これを可決承認した。引き続き、各主査・各クラブ会長から活動報告があった。議決を要する提案として「次々期六甲部長に神戸クラブの井出浩ワイズの

承認」「六甲部HP運営費24,000円/年を六甲部会計から支出」「JWF管理委員会規則の改正案」が示され、若干の質疑を行った跡、それぞれ賛成多数で議決した。最後に若林次期部長から活動方針の紹介があり、第2回評議会は終了した。

その後、第2部交流会が行われ約30名が出席、3つのグループに分かれて久々に仲間との交流を楽しんだ。



若林成幸

西日本区次期会長・主査研修会に参加して

2022年3月 12 日(土)大阪コロナホテルにて、2021年度西日本区次期会長・主査研修会が開催されました。

例年は1泊2日で開催されていましたが、コロナの感染拡大により単日開催となり、各部の部長・主査は研修会場にて、各クラブの会長は会場よりのオンライン配信(ZOOM)での参加となりました。

まず、基調講演「ワイズの原点を共に学びましょう！」をはじめ、西日本区の現況および国際協会・アジア太平洋地域の現状等の報告がありました。

次に次年度の各役員の紹介および各部の活動方針等の説明があり、その後分科会として「会長のグループ」と「部長・事業主査のグループ」に分かれ開催されました。

私達は「会長の責務」等次期会長としてすべきこと等のレクチャーを受けました。

今回は半日ではありましたが、盛り沢山のプログラムで学ぶことが多くあり、充実した1日でした。

綿密な計画と準備でこのような研修をスムーズに運営された役員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

次期会長 小林康男

西日本区オンライン交流会

3月26日(土)西日本区オンライン交流会が ZOOM で開催されました。

19時から西日本区新山兼司理事の開会宣言と挨拶があり、グループに分かれてディスカッションの時間もありましたが久しぶりに会う事が出来てテーマがありましたが、近況の紹介で終わってしまいました。田上正西日本区次期理事の閉会の挨拶があり、まだまだ収束しないコロナ禍に負けないで、リアルに会えること祈って終わりました。



神戸YMCA日本語スピーチコンテストを観て

2022年3月4日(金)神戸YMCA 学院専門学校・コミュニカ学院の主催による第13回日本語スピーチコンテストが三宮会館チャペルで行われました。コロナ禍、開催が危ぶまれていましたがオンライン方式が採用され、多くの在學生や来賓が視聴し声援を送ることができました。

コンテストは、留學生の在留期間に応じてでしょうか、初級・中級・上級の部に分かれて10カ国、13名が弁を競い、彼らが経験した日常生活のエピソード・日本の文化への戸惑い・将来への希望などが平易に、かなり正確な日本語で語ってくれました。中には、日本人が気付かないところを上手く言い当てていると思わせるなど、多面的・複眼的に物事を観察している姿勢が表われていて好感を持ちました。

日本語の学習成果を競う場でありながら、YMCA に集う學生の多様性を感じることが出来る素晴らしい場所でした。来年のコンテストも楽しみにしたいと思います。

若林成幸

3・11 東日本震災被災地支援 揚がれ！希望の凧！

3月12日、午後2時から、素晴らしい4月の春の陽気のようなお天気のもと上空は凧揚げにもってこいの風が吹き、凧は大空に舞い上がった。



今年で宝塚ワイズが呼びかけて行っている東北震災被災地支援のCS事業の一つ、「揚がれ！希望の凧！」は10回目になる。コロナ蔓延防止令が出ている中ではあったが、自立の家の石田施設長と相談の結果の実施となった。

第一部は凧揚げ、第二部は室内で震災関係の絵本の読み聞かせとフラ
第一部のむこにゃん広場では宝塚ワイズのメンバーで用意した凧が30枚、参加者はワイズのメンバー、NPOセンターのサボステから、また一般のワイズ関係者の家族など25人の参加のもと東北震災被災地の方々を覚えて寄り添いの気持ちを大空に凧を上げて届けました。

30分間の短い時間でしたが、参加して下さった子どもさんたちの賑やかな楽しそうな凧揚げの様子はとても勇気づけられるものです。阪神自立の家の入居者の方々は窓からそしてオンライン発信ができ室内で同じ想いを持って参加して頂きました。

第二部は室内での行事。震災の起こった2時46分に被災地の皆様を

今年で宝塚ワイズが呼びかけて行っている東北震災被災地支援のCS事業の一つ、「揚がれ！希望の凧！」は10回目になる。コロナ蔓延防止令が出ている中ではあったが、自立の家の石田施設長と相談の結果の実施となった。

第一部は凧揚げ、第二部は室内で震災関係の絵本の読み聞かせとフラ

第一部のむこにゃん広場では宝塚ワイズのメンバーで用意した凧が30枚、参加者はワイズのメンバー、NPOセンターのサボステから、また一般のワイズ関係者の家族など25人の参加のもと東北震災被災地の方々を覚えて寄り添いの気持ちを大空に凧を上げて届けました。

30分間の短い時間でしたが、参加して下さった子どもさんたちの賑やかな楽しそうな凧揚げの様子はとても勇気づけられるものです。阪神自立の家の入居者の方々は窓からそしてオンライン発信ができ室内で同じ想いを持って参加して頂きました。

第二部は室内での行事。震災の起こった2時46分に被災地の皆様を



覚えて黙祷をし、開始です。

東日本大震災を忘れない絵本の一つ「ハナミズキのみち」が自立の家にボランティアで関わってくださっている関西学院の学生さんが読み聞かせをしてくださいました。



そして最後に我がクラブの石田ワイズの指導でコロナ禍でもオンラインでフラのレッスンをを受けておられた自立の家の方々とコナミの生徒さん方も加わり、復興支援ソング「花は咲く」のCDから流れる歌でフラを披露し、被災地の方々を思い寄り添いの気持ちを届けました。

短時間の行事でしたが、それぞれが想いを込めてその場で参加をしてくださったことはとても感謝でした。そして宝塚ワイズならではの発想、オンラインで外の凧揚げ行事が映像に映し出され、また遠隔地の方々

もzoomでの参加をしてくださったことはコロナ禍ではあっても素晴らしい広がりのある行事ができました。

また今回は東北の被災地の皆様への寄り添いと共に現在戦禍の真っ只中で苦しみ、悲しみ、不安の中にあり傷ついている多くのウクライナの人々へも私たちからの寄り添いの気持ちと1日も早い平和が訪れますようにとの願いが届くようにと一同祈りを持っての参加でした。

多胡葉子

ウクライナ支援募金のお願い！

ロシアがウクライナに侵攻して早 1 か月となりましたが、依然としてその勢いは鎮火の気配は無く、劇場や教会と言う平和のシンボルまでが爆撃され、その被害は甚大なものとなっています。子供たちの犠牲者も増え続け、隣国に余儀なく非難をせざるを得ない人々の数も 400 万人を超えている有様です。多くの国々ができる限りの支援の手を差し伸べていますものの、まだまだ十分と言えません。

六甲部より 10 万円の寄付は、決定いたしておりますが、各クラブ自身、個々にもう少し支援募金を集めようという意見が出ております。我クラブに於きましても、アソシエイト会員の方より、是非集めてほしいという、嬉しいご意見もあり、また、元クラブ会員の方より、既に送金して下さっております。そこで、もう一度、皆様に悲惨な目にあっておられるウクライナの方々のことを思い、今一度支援募金をお願いいたたく存じます。

色々なご事情がおありかもしれませんが、できる範囲での皆様のご協力、よろしく願い申し上げます。

4月 13 日の第一例会、20 日の第二例会等、また、直接下記の、宝塚クラブの銀行口座に振り込んでくださっても幸甚でございます。ご協力感謝でございます。

(宝塚クラブ銀行口座)

銀行名 三菱 UFJ 銀行宝塚中山支店
口座番号 普通預金 4585836
口座名 宝塚ワイズメンズクラブ (会計 小林康男)

会長:福田宏子

ブリテン 400 号の思い

4 月号で第 400 号に成りました。ブリテンの役割はクラブの活動、報告です。また国際、西日本区、六甲部の情報を会員に伝える役があります。

そしてクラブの誕生日であるチャーターの前の仮例会からブリテンが発行されます。

宝塚クラブのチャーターは 1988 年 5 月で今年 2022 年 34 年間 1 か月も欠かす事なく発行されてきた事がわかります。そして、第 1 号のブリテン委員長は多胡葉子ワイズで 2 代目が辻建ワイズ、3 代目が若林成幸ワイズ、長尾は 4 代目になります。

当初はワープロで作成されたそうです。私は 2002 年 7 月に大阪土佐堀クラブから転会してブリテン作成にも関わってきました。そして、当時はチャーターメンバーだった辻建ワイズの東夙川教会で印刷して、約 230 部の発送作業のお手伝いをしに行きました。

大変な手作業でしたが後、辻健ワイズの手作り餃子をご馳走になるのが大変楽しみでした。そして、パソコンメールの発展で作成時間の短縮、郵送料が不要と経費節減が出じました。特にカラー写真をブリテンに載せることが出来る様になり、見るのも楽しく成りました。そして 15 年前に「ブリテン最優秀賞」をとりました。また受賞したいですね♪

ブリテン 400 号の発行は皆さんの快く原稿を書いて、速やかに送ってくださる事です。

4 代目 ブリテン担当 長尾 亘

お知らせ

阪急宝塚南口駅前の宝塚市国際交流センターの入り口に4月から6月末まで宝塚クラブの活動写真、神戸 YMCA と協同の活動写真の展示とワイズメンズクラブのグッズを展示しています。

時間が出来ましたら是非一度見に行ってください。





YMCA ニュース

3月2日からレント(受難節、大齋節、四旬節)に入っており、イースター(復活祭)への歩みが始まっています。

2019年まで神戸東遊園地でイースター早天礼拝を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2020年、2021年と開催が叶えられませんでした。キリスト教を基盤とする私たちYMCAにとって大切な礼拝ですので今年初めての試みとしてオンライン(Zoom)で開催します。

【イースター早天礼拝】

日時:2022年4月17日(日) 午前8時から9時

メッセージ:與賀田光嗣先生 (日本聖公会 神戸聖ミカエル教会垂水伝道所)

オンライン(Zoom)で開催します。

<https://bit.ly/3sUWLx8> よりお入りください。

連絡担当 橋本 唯

編集後記

400号の感想を書かせて頂きました。日頃原稿の提出に感謝いたします。